

# 川崎市道路維持修繕計画

実施プログラム(2024年度～2028年度)

【横断歩道橋編】

令和6年3月

(令和7年3月改定)

川崎市

# 1. 施設の現状

本市が管理する横断歩道橋は 114 橋あります。

	
<p>鋼部材の横断歩道橋 (四谷上町歩道橋)</p>	<p>コンクリート部材の横断歩道橋 (白山第3歩道橋)</p>

# 2. 管理手法

管理手法は、「予防保全型」、「機能保全型」、「定期更新型」、「対症療法型」の 4 つの分類を継続します。

表 2.1 管理手法分類

管理手法		解説
計画的な維持管理	予防保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が <b>予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい段階</b> で計画的に対策を実施し、常に一定の健全度を保持する。
	機能保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が <b>早期に措置を講ずべき段階</b> で対策を実施する。
	定期更新型	定期的な点検等により施設状態を把握し、施設の機能・安全性を確保する前提で、設定した <b>耐用年数</b> によって対策を実施する。
対症療法型		道路パトロールや陳情により施設状態を把握し、損傷程度が <b>緊急に措置を講ずべき段階</b> で必要な対策を実施する。

## 3. 対象施設の管理手法・管理方針

### 3.1 横断歩道橋の管理手法

横断歩道橋は、予防保全型の管理手法とします。

### 3.2 老朽化対策における基本方針

#### (1) 管理区分

横断歩道橋は、歩行者の安全確保と車両交通の円滑化が基本的な目的であり、鉄道や道路を跨ぐ構造物であることから倒壊・落下した場合の第三者被害への影響が想定されます。

また、これまでバリアフリー化や維持管理費用等の大きな財政負担を考慮し存続の検討をした上で、施設の撤去を進めています。今後も周辺環境に応じて撤去を検討する施設は生じると見込まれています。

そのため、コスト削減の観点から、横断歩道橋では下表のとおり撤去検討の状況に応じた管理区分を定めることとします。

表 3.1 管理区分

管理手法	管理区分	定義
定期更新型	-	-
予防保全型	今後撤去を検討しない道路施設	・過去に撤去を検討したが、撤去に至らなかった横断歩道橋 ・建物との接続がある横断歩道橋
予防保全型（将来的に撤去をする場合は機能保全型に移行）	撤去を検討していない道路施設（将来的に撤去をする可能性が残っている道路施設）	・撤去検討を行ったことが無い横断歩道橋
機能保全型	現在撤去を検討している道路施設 今後撤去を検討する道路施設	・撤去検討が可能な道路施設の条件に該当する横断歩道橋
対症療法型	-	-

## (2) 管理指標

横断歩道橋は「横断歩道橋定期点検要領（平成31年2月、国土交通省道路局）」にて、4段階の健全性の判定区分で診断されており、これを管理指標とします。

表 3.2 管理指標

健全性の判定区分		状態
I	健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

## (3) 管理水準

横断歩道橋のうち、今後撤去を検討しない施設と、撤去を検討していない施設は予防保全型で管理するため、管理水準は予防保全段階である健全性IIとし、健全性Iの維持を目指します。

撤去を検討している施設と、撤去を検討する施設は、機能保全型で管理するため、管理水準は早期措置段階である健全性IIIとし、健全性II以上の維持を目指します。

表 3.3 管理手法、管理区分、管理指標、管理水準の関係

管理手法	管理区分	健全性の判定区分		
-		I	健全	目標とする健全性
予防保全型	今後撤去を検討しない施設 撤去を検討していない施設	II	予防保全段階	管理水準
機能保全型	現在撤去を検討している道路施設 今後撤去を検討する道路施設	III	早期措置段階	管理水準
対症療法型		IV	緊急措置段階	

## (4) 優先順位

対策を行う優先順位は、施設の健全性の評価を行ったうえ重要度を評価し決定します。施設の健全性は、「健全性の判定区分」から評価をし、施設の重要度は「歩道橋下の状況」、「道路分類」から評価をし、さらに最終修繕履歴からの経過年数が長い施設の重要度を評価します。

表 3.4 重要度の評価

重要度	評価区分	備考
歩道橋下の状況	1: 跨線橋である 2: 跨線橋ではない	
道路分類	1: B (緊急輸送道路、大型車交通量が多い、バス路線) 2: C (上記以外の幹線道路)	歩道橋下の状況の後に評価する

※評価区分の数値が小さい程、重要度が高い

表 3.5 優先順位の考え方（横断歩道橋）

歩道橋下の状況	重要度			
	跨線橋である		跨線橋ではない	
道路分類	道路分類 B	道路分類 C	道路分類 B	道路分類 C
健全性Ⅳ	1	2	3	4
健全性Ⅲ	5	6	7	8
健全性Ⅱ	9	10	11	12
健全性Ⅰ	-	-	-	-
	長	最終修繕履歴からの経過年数		短

### 3.3 新技術の活用方針

#### (1) 点検・診断

横断歩道橋の定期点検・診断では、広範囲な通行止めを必要とする場合において、費用の縮減や効率化を図るため、点検支援技術性能カタログ等により新技術等の動向を把握し、新技術等の活用を検討します。また、品質確保（向上）に資する場合は、新技術等の活用を検討します。

#### (2) 対策

修繕工事を実施する横断歩道橋において、費用縮減や修繕の品質向上を図るため、新技術情報提供システム（NETIS）等により新技術等を確認し、点検・診断により確認された損傷状態に適した新技術等の有効性や経済性を検討したうえで、新技術等の活用を図っていきます。

### 3.4 集約化・撤去の方針

集約化・撤去の検討にあたっては、横断歩道橋の周辺環境や利用状況を考慮し、地元の同意や関係機関との協議等を行い、集約化・撤去を進めていきます。

### 3.5 費用の縮減に関する具体的な方針

予防保全型の維持管理を行い施設を長寿命化させ、長期的な維持管理費用の縮減を目指します。

対策において新技術等を検討し活用することにより、修繕費用の縮減を目指します。また、点検・診断においても、費用縮減効果等が図れる場合は新技術等の活用を検討し、更なる費用縮減を目指します。

施設の集約化・撤去を推進し、ライフサイクルコストの削減を目指します。

## 3.6 計画の目標

---

### (1) 点検・診断点検

令和 10 年度までに定期点検を実施する横断歩道橋のうち、広範囲な通行止めを必要とする 2 施設について、新技術等の活用を検討します。

### (2) 対策

令和 10 年度までに修繕工事を実施する横断歩道橋 26 橋において、新技術等の活用を検討します。

26 橋において新技術等を活用した場合、修繕工事費用について約 63,000 千円（約 4%）の縮減効果を見込んでいます。

### (3) 集約・撤去

令和 10 年度までに横断歩道橋 2 橋の集約化・撤去を検討します。

2 橋の集約化・撤去を実施した場合、今後 5 年間で点検費約 3,000 千円、設計・修繕費約 146,000 千円の削減効果を見込んでいます。

## 4. 実施プログラム

### (1) 計画期間

実施プログラムの計画期間は、維持修繕計画の第3期として、2024年度（令和6年度）から令和2028年度（令和10年度）の5年間を対象とします。

### (2) 点検計画

5年に1回、近接目視による定期点検を実施します。

点検時には高所作業車が必要となり、部材の損傷を評価する必要があることから専門業者への委託による作業とします。

### (3) 実施プログラム

2024年度（令和6年度）から2028年度（令和10年度）の5ヵ年における横断歩道橋の実施プログラムは次のとおりです。なお施設の劣化状況等により、対策時期が変更になる場合があります。

# 横断歩道橋

区	施設名	建設年度	延長	点検結果		次回点検年度	対策年度					具体的対策内容
				実施点検年度	判定区分		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
							R6	R7	R8	R9	R10	
川崎市	旭町二丁目歩道橋	1969年	28m	2022年	Ⅲ	2027年		修繕				塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	四谷下町歩道橋	1967年	23m	2022年	Ⅲ	2027年	修繕					塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	浅野町歩道橋	1968年	36m	2022年	Ⅲ	2027年			修繕			塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	塩浜歩道橋	1968年	38m	2022年	Ⅲ	2027年	修繕					塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	大島歩道橋	1968年	28m	2022年	Ⅲ	2027年					撤去検討	撤去検討
川崎市	四谷上町歩道橋	1969年	24m	2022年	Ⅲ	2027年				修繕		塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	池上新町歩道橋	1968年	36m	2022年	Ⅲ	2027年					修繕	塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
川崎市	出来野歩道橋	1968年	36m	2022年	Ⅲ	2027年					撤去検討	撤去検討
川崎市	駅前本町歩道橋	1968年	17m	2022年	Ⅲ	2027年					修繕	当て板工等
川崎市	川崎駅東西連絡跨線人道橋	1983年	154m	2023年	Ⅱ	2028年					修繕	排水管補修工等
川崎市	日進町第2歩道橋	1988年	20m	2022年	Ⅲ	2027年				修繕		排水管補修工等
川崎市	田島町歩道橋	1968年	23m	2023年	Ⅱ	2028年						(調査、設計等)
幸区	末吉橋歩道橋	1971年	34m	2022年	Ⅱ	2027年						(調査、設計等)
幸区	古市場歩道橋	1969年	20m	2022年	Ⅱ	2027年		修繕				塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
幸区	下平間歩道橋	1970年	22m	2022年	Ⅱ	2027年				修繕		塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
幸区	南加瀬歩道橋	1967年	16m	2022年	Ⅱ	2027年						(調査、設計等)
中原区	こすぎごてんみどり歩道橋	1966年	15m	2022年	Ⅲ	2027年		修繕				当て板工等
中原区	玉川歩道橋	1968年	31m	2022年	Ⅲ	2027年				修繕		塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
中原区	平間歩道橋	1967年	21m	2022年	Ⅲ	2027年					修繕	塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
中原区	中丸子跨線人道橋	1974年	52m	2023年	Ⅲ	2028年		修繕				塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
中原区	平間駅跨線人道橋	1966年	12m	2023年	Ⅲ	2028年					修繕	塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
中原区	木月住吉町歩道橋	1969年	18m	2023年	Ⅱ	2028年		修繕				塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
高津区	高津小学校前歩道橋	1986年	15m	2022年	Ⅱ	2027年			修繕			塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
高津区	末長歩道橋	1970年	15m	2022年	Ⅱ	2027年				修繕		塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
高津区	諏訪歩道橋	1971年	25m	2022年	Ⅱ	2027年						(調査、設計等)
宮前区	上野川歩道橋	1975年	35m	2023年	Ⅲ	2028年		修繕				塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
宮前区	平台歩道橋	1970年	25m	2022年	Ⅱ	2027年				修繕		塗替え工(3種)、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
宮前区	宮崎歩道橋	1968年	15m	2023年	Ⅲ	2028年		修繕				塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
多摩区	生田根岸歩道橋	1979年	106m	2023年	Ⅲ	2028年	修繕					塗替え工、当て板工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
多摩区	宿河原跨線人道橋	1981年	32m	2023年	Ⅱ	2028年				修繕		塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
多摩区	東生田遊歩道橋	1991年	22m	2023年	Ⅱ	2028年					修繕	塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
多摩区	高石歩道橋	1981年	19m	2023年	Ⅱ	2028年					修繕	塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
多摩区	根岸稲荷歩道橋	1991年	50m	2023年	Ⅱ	2028年						(調査、設計等)
麻生区	山口睦歩道橋	1982年	30m	2023年	Ⅱ	2028年		修繕				塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等
麻生区	百合丘歩道橋	1969年	34m	2022年	Ⅱ	2027年						(調査、設計等)
麻生区	百合丘小学校前歩道橋	1970年	26m	2023年	Ⅲ	2028年			修繕			塗替え工、舗装打換工、排水管補修工、側板補修工事すり取替工、照明工等

対策予定箇所のみ記載

対策に係る全体概算事業費

1,651,120千円